

DVとは何か

DV支配の多様なあり方を批判的に学ぶ（力による支配、ジェンダーによる支配、カップル単位の恋愛観・家族観による支配）

暴力行為を選択しているということ（責任）

参加者のケーススタディ

被害者について学ぶ（相手と子ども）子育てへの影響）

意図でなく結果（被害者に及ぼしたことでみる）

自分に気付く（自分の過去と社会を学ぶ）

社会の中にあるDV容認感覚（ジェンダー、育った家庭など）

DVでない対等な関係について学ぶ/シングル単位感覚

境界線

嫉妬・束縛と信頼

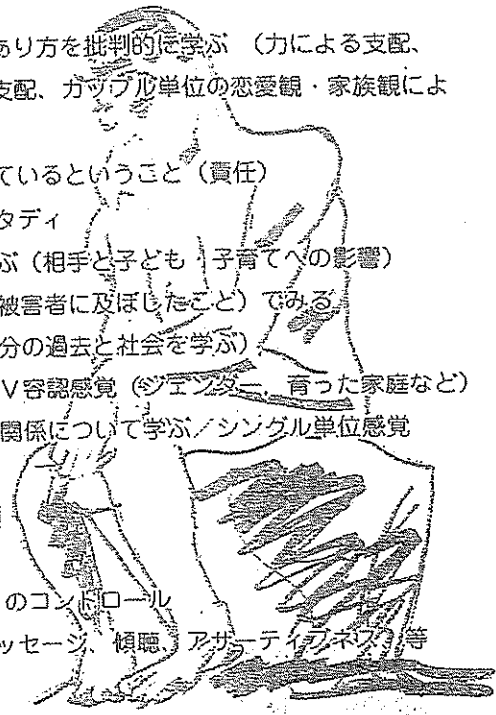
別れについて

感情と行動、怒りのコントロール

共感、尊重、メッセージ、傾聴、アサーティブネス、等

ストーリーカード問題

DV法、ストーリーカード法



気になる資料

- ・エア編『DVって何だろう？—DVをしてしまった男性たちからのセージ』（アウェア発行、2008年）
- ・ラ・コリー『愛は傷つけない—DV・モラハラ・熟年離婚 自立に向けガイドブック』（梨の本舎、2008年）
- ・ディ・バンクロフト『DV・虐待被害者の実体を知る』（明石書店、8年）
- ・ザン・ブルースター『DV被害女性を支える』（金剛出版、2007年）
- ・B.E.A.T『オレにあやまれ！』（竹書房、2010年）
- ・佐和子『アメリカ発DV再発防止・予防プログラム』（ミネルヴァ書房、0年）
- ・リエンス篇『傷ついたあなたへ、わたしがわたしを大切にすること』（梨の本舎、2005年）
- ・『傷ついたあなたへ（2）—わたしがわたしを幸せにすること—トラウマからの回復ワークブック』（梨の本舎、2010年）
- ・『子』『マイ・レズリエンス』（梨の本舎、2013年）
- ・『日本法律事務所編「ストーリー—DV被害にあっているあなたへ」』（中野、2011年）
- ・『上』『デートDVと恋愛』（大月書店、2010年）
- ・『ストップ！ デートDV—防止のための恋愛基礎レッスン』（解放社、2011年）
- ・『裕子』『デートDVと学校』（エイデル研究所、2010年）

NOVOの関連活動

\*デートDV防止教育の講師派遣

NOVOのメンバーが行います。

すでに多くの学校や教員、保護者、行政関係者などを対象に行っています。

\*相談 DV/デートDVに関する相談に乗ります。必要ならば適切なところを紹介します。

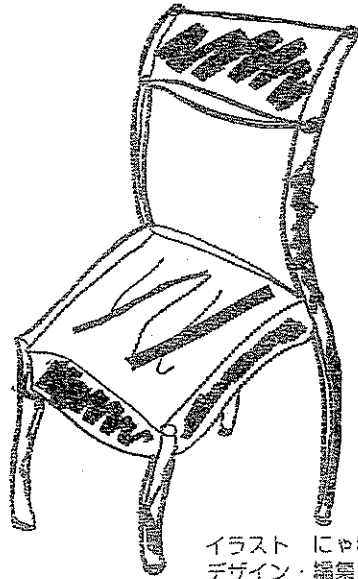


イラスト じゃぎ S FACTORY  
デザイン・編集 ちまちま工房

まずは、ご連絡ください。ご説明のうえ、参加を希望される方には第1回目の面談を設定します。DV加害者の方だけでなく、DV被害者でパートナーに暴力を振るわないように変わってほしいとかプログラムに参加してほしいと思う方もお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ・連絡先

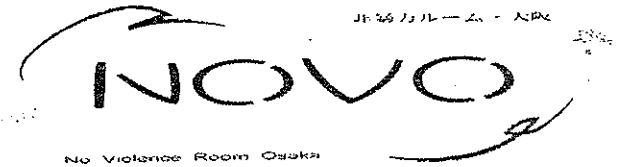
NOVO 「非暴力ルーム・大阪」

電話 090-5965-0973

メール novo\_osaka@yahoo.co.jp

HP <http://novohibouryoku.jimdo.com>

検索



DV被害者支援のひとつの方法として

実施する、

暴力をふるう男性向け

「DV加害者プログラム」

非暴力ルーム・大阪

## NOVOとは

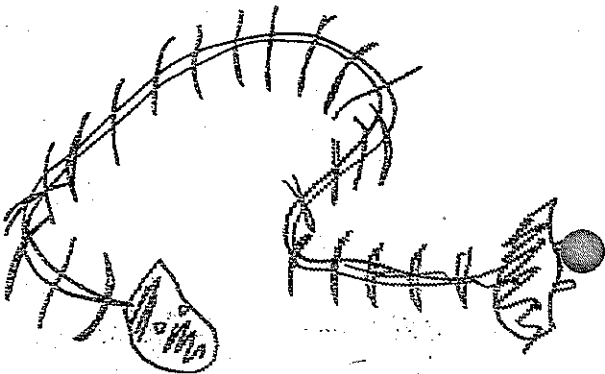
NOVO (ノボ) は、「非暴力ルーム・大阪」(NO VIOLENCE ROOM OSAKA) の略です。性暴力、性差別、DV、ストーカー、セハラを許さない立場で、アウェアで学んだ者たちが大阪で加害者プログラムを始めるために立ち上げた組織です。

014年開設。

## NOVOが目指すこと

DV加害行為を真摯に反省し、変わりたい、パートナーと対等な関係を築きたいという人に教育プログラムを提供すること、およびデートDV防止教育の普及によって、日本社会からDVストーカー被害にあう人を減らし、対等な関係を営める「非DVのカップル」を増やすことを目指します。

NOVOは、被害者支援の運動・組織と連携し、被害者の横暴に加担しません。



## NOVOの特徴

- ①表面的な反省や今後の関係の持ち方のテクニックを学ぶのではなく、自分の中にあるDV加害行為を正当化する考え方の誤り(ゆがみ)に気づき、DVにならない考え方(尊重、共感、非暴力、シングル単位、ジェンダー平等)を学びます。
- ②DV被害者及びその支援者と連携し、被害者の人権(安全、自信、自由、自己決定、成長)を第一に考えます。
- ③被害者の言動(問題点)を問うのではなく、自分の加害言動を反省し、責任を認め、真摯に学び、自分の実際の言動が変わることを目指す人とともに歩みます。

## NOVO加害者プログラムの基本

毎週2時間50回、  
1年以上通うプログラムです。

心理的治療やカウンセリングではなく、グループで行う教育プログラムです。

教材を使って参加型で行い、主体的に自分の問題に取り組むことを促すものです。

カリフォルニア州認定のプログラムを応用して日本でこの種のプログラムを10年以上行ってきたアウェアのやり方をベースにしています。

ファシリテーターは、アウェアの加害者プログラム研修(10.0時間)を受けたものが複数で担当します。

## プログラムの対象者

- DVをやめたいという意思をもつ人
- DVを反省し、パートナーとの対等な関係を築きたいと思っている人
- 精神疾患がない人
- アルコールや薬物等の依存症でない人
- パートナー面談が可能な人

## 教育プログラムの内容

DV行動の大きな要因である暴力容認感覚、ジェンダー感覚、ゆがんだ恋愛観、カップル単位意識などについて批判的に学び、それを学び落とします。DVは人権侵害(犯罪行為)であり、相手を力で支配するために、手段として「自分が選択した行為」であることに気づき、その責任を取ることを目指します。そして暴力ではない他の方法を使えるようになり、対等な関係が築けるようになることを目指して学びます。

### ◆実施曜日について

グループ・セッションは土曜日

毎週、土曜日の午後(4-6時)にグループ・セッションを実施します。

### ◆参加費

1回3000円です。

### ◆その他

参加を希望する方には事前面談を3回受けていただきます。

パートナーへの面談も行います。

場所は、JR大阪駅、阪急梅田駅近辺です。

(参加決定の方にお知らせします)